



小暮 博志

① 政友みらい

② 馬門町 1 5 9 7

③ (23) 8 2 6 3

④ 新年に当たり思うことは、『蒔かぬ種は生えぬ』『現状維持は後退』という言葉です。常に新しいことを行っていないと、どんどん縮小して行き、今まで出来たことが出来なくなるということなのです。

佐野市においては、インランドポートの発展、北関東沿線開発と企業誘致の促進、国際クリケット活動の推進、小中一貫校の推進、都市計画や道路整備の推進等を積極的に進め、経済の活性化と安全で住みよい街をめざして邁進します。



若田部 治彦

① 公明党議員会

② 奈良湊町 6 7 0

③ (21) 2 8 5 1

④ 本市におきましても「少子高齢化」・「人口減少社会」問題について新たな施策の取り組みが不可欠です。佐野市で働き、家族を形成して子どもを産み育てる環境を構築しなければなりません。さらに若者を引き寄せる魅力ある拠点都市の整備を進める必要があります。それぞれの地域の恵まれた自然環境や首都圏近県などの良さを様々なツールで情報を発信していかなくはなりません。今後ともさらに住み良い街づくりを目指してまいります。



横田 誠

① 新風

② 栃本町 2 3 3 1-3

③ (62) 1 0 8 6

④ 人口減少社会の時代には多くの困難があります。しかしその困難の中にこそ新しい発想の種があり、そこから得た発想こそ、社会をより良く変化させるチャンス。の兆しとなるはず。その考えのもと、社会にある多くの困難と向き合い、果敢に挑むことで佐野市の発展に貢献していく所存です。そこで第2次総合計画の前期基本計画のスタートに際し、教育環境の整備、子育て・福祉の充実、躍動感ある産業の推進に更に力を注いでまいります。